

ボランティアグループ活動紹介

○岡山掃除に学ぶ会

岡山掃除に学ぶ会は、平成13年3月10日、社会や心の荒みをなくし、心安らかな社会を作っていきたいという願いで、自主的に集まり、主体的な清掃活動を行なっています。



倉敷市立琴浦中学校をかわきりに、毎月1回、県内の学校で、生徒、先生、保護者の方々と一緒に、「徹底したトイレ掃除」を行っています。これまでに、345回開催し参加者総数は32,700名となっています。また、毎月第一日曜日は、倉敷駅周辺の街頭清掃も行っています。



○みどり会

みどり会は、平成15年3月に日本フォークダンス連盟に加盟して、ふるりの民踊、たのしい民踊を唄ったり踊ったりしています。依頼があれば地域三世代四世代合同盆踊り大会や介護施設、公民館祭、サロンに参加して楽しんでもいただき、私達の励みになっております。



グループの年間行事は新年会、おたのしみ会（おさらい会）、お花見会、忘年会です。

令和6年元旦に、石川県能登半島地震が発生し、最大震度7を観測され、被害にあわれた皆様のことを思うと心が痛み、微力ながら日本赤十字社岡山県支部を通して、送金させていただきました。早期復興を祈っております。



○エスペランサ

皆様こんにちは！私たちエスペランサの会は団員4人おりますが、主に2人で（アコーディオンとピアノ）、月・火・金曜日いずれかの午後に月2回練習しております。ジャンルとしては、日本歌謡曲・ラテンアメリカ曲・童謡の曲等々です。



皆様にも他の楽器と一緒に合わせる楽しさを味わっていただきたいのですがいかがでしょうか？私たち二人共まだまだ未熟でして、練習あるのみです。

活動としては、今までは児童施設や小さなホール、教会のクリスマス会等で演奏してきました。なおピアノですが、従来型の木製ピアノが希望です。相済みませんが、キーボードや電子ピアノではやっておりませんのでごめんなさい。また、バイオリンの方を募集しています。参加希望の方は、ご連絡ください。



岡山市ボランティアグループ連絡協議会

広報紙

第21号



2025年3月31日 発行
岡山市ボランティア
グループ連絡協議会
〒700-0913
岡山市北区大供二丁目 4-25
Tel : 086-201-0171
Fax: 086-238-7757

岡山市ボランティアグループ連絡協議会 ごあいさつ

岡山市ボランティアグループ連絡協議会
会長 多田 慎治

みなさん、お元気にボランティアを楽しんでいますか。私もフロアバレーの練習に励んでいます。フロアバレーというのは、視覚障がいを持つ人がやるネットの下を転がすバレーボールです。前衛の3名は、アイマスクを付けて後衛の指示によって左右に動きます。大会に向けて、みんなで楽しく練習しています。これからも楽しんで、ボランティアを続けていきましょう。くれぐれも無理をしないようにお願いします。



令和6年度総会の様子
(令和6年5月25日)
勤労者福祉センターにて

朗読ボランティアグループふらここによる、「ねずみ経」の朗読

岡山市ボランティアグループ連絡協議会は、ボランティアグループが交流し、お互いの理解・資質向上を図り、地域福祉の推進を目指すことを目的に活動しています。

岡山市ボランティアグループ連絡協議会では、一緒に活動して下さる新規会員グループを募集しています！入会の申込みやお問い合わせは、事務局の岡山市社会福祉協議会 企画広報・ボランティア課（086-201-0171）までお願いします。

＊年会費：1,000円
＊主な行事：総会（年1回）、運営委員会（隔月で年6回程度開催）、研修会（年1回）、市社会福祉協議会のイベントへの参加・協力、広報紙の発行（年1回）等

【加入団体一覧：17団体】

西大寺子どもライブラリークラブ、手話サークル麦の会、福祉ボランティアひまわり、岡山要約筆記クラブ、日本を美しくする会 岡山掃除に学ぶ会、岡山ボランティアネットワーク、VOLAの会、まどかグループ、手話サークルかけはし、手話サークルきびだんご、ジョブサポート事務局そら、朗読ボランティアグループふらここ、ボランティアサークル虹、ノートルダム清心女子大学同窓会 ゆめ文庫、おかやま日本語プラザネットワーク、みどり会、エスペランサ

会員を募集しています！



令和 6 年度研修会 ～私たちの防災について～

令和6年11月13日(水)岡山市勤労者福祉センターにて、日本防災士会の宮原久子様をお招きし、研修会を行いました。

近年の自然災害を始め、命を守るための備えについて、様々な情報を教わりました。中でも新聞紙の活用方法には驚かされるばかりで、一日分の新聞紙があるだけで、スリッパやマスク、コップなど、災害時に役立つものを作れることを知りました。



また、西日本豪雨の真備町の話では、聴覚障害のある方がボランティアで活躍された話も聞くことができました。

当日は手話サークルきびだんごの方が手話通訳をしてくださり、障害の垣根を越えて学ぶことができました。



参加者の感想

- 新聞紙の多様な使い道のことを教えていただき、ありがとうございました。お話を聞いて防災について、もっと考え、準備が必要だということが分かりました。講師の方のお話が分かりやすかったです。
- 災害ボランティアのありさまが具体的な視点でよく理解できました。目から鱗のお話が多々ありました。ありがとうございました。
- 家で考えて色々用意はしていたが、まだまだ足りなかった。新聞紙があれば、これほど良いとは思わなかった。



新聞紙で
スリッパを
作る様子



宮原様による講演の様子

実際に作ったもの

- 新聞スリッパ(新聞紙2枚)



避難所の体育館などは床が冷たいので、これがあるだけで、少しでも快適に過ごせます。

- 紙コップ(広告紙1枚、ナイロン袋)



これにナイロン袋を被せることで水分がとれます。ナイロン袋を変えれば災害時にみんなでシェアすることもできます。



第26回 人権フェスティバル岡山 自分らしさを大切に ～個性を描こう!未来に向けて～

令和6年12月1日(日)岡山ドームで開催された第26回人権フェスティバル岡山に「点字体験」のコーナーを出展し、あわせて約200名の方に体験していただきました。

出展に際して、中国短期大学保育学科の学生さんにご協力いただきました。来場者に笑顔で対応してくださり、大変お世話になりました。

点字体験者の感想

「点字を読むのは難しかったが、点字に興味があったので名刺を作れてよかった」

「上から押すのが難しかった」



点訳機で打つ練習をしている様子

親子で体験する様子

「点字がこういう風に作られていることが分かり、感動しました!」

点字について

点字とは、視覚障害者が指で触って読む文字です。世界中の国々で使用されており、アルファベットや数字、音楽記号、科学記号、句読点などの表現ができます。名刺や缶、調味料、エレベーター、トイレサインなどで使われています。日本語の点字は6点の組み合わせで表現され、漢字は音訳や仮名点字で対応されています。



身近にある点字

点訳絵本とは

全盲のお母さんが、幼い子どもたちに絵本を読んでやりたい!その一心で市販の絵本に手を加えられた点訳絵本。見える子(人) 見えない子(人)も楽しめるように文章には点字、挿絵には透明シールを切り貼りして凹凸をつけ形や情景がわかるように工夫されています。



点訳絵本「ピノキオ」
絵にも点字やフィルムを貼っている



点訳絵本の表紙